

今号の表紙から

いわき市は、原子力発電所事故の影響によって今も著しい風評被害を受けており、「いわき産」と表示された農林水産物は、消費者から敬遠されるという深刻な状態が続いています。しかしながら、メディアを通して様々な情報が流れている状況の中、ただ「安全・安心」を主張するだけでは、消費者の理解や信用は得ることはできません。

そこで、市は、安全・安心を実際に判断するのは消費者の皆さんであると考え、その判断材料にしていたために、いわきの農作物に関する様々な情報を分かりやすくお届けする「いわき農作物見える化プロジェクト」を開始しました。平成23年10月1日から、農作物や土壌の検査結果や検査方法、大気中の放射線量推移や農業者の皆様の姿、想いなどの情報を市のWEBサイト「見せます！いわき」で公開していきます。

平成23年8月20日(土)に、四倉町長友の水田で行われたCM撮影もその一貫で、CMも同じく10月1日から、首都圏で放送されています。市内の農業者を始め、JAいわき市やJAいわき中部、磐城農業高等学校などから約1,000人が集まり、風評被害克服へ向け、気持ち一つにして撮影に臨みました。参加者全員が空を見上げて「見せます！いわき」を大合唱し、笑顔の中で撮影は順調に進みました。約1,000人の参加者の息はびつたりと合い、いわきが一つになって、風評被害



いわき農作物見える化プロジェクト始動!



興味がある方は、ぜひ「見せます！いわき」を検索してください!!

見せます！いわき

検索

に立ち向かう意気込みや姿勢を伝えることができました。興味を持ってくれた消費者の方に見てもらうため、CMにはサイトの検索窓が紹介され、サイトではCMの動画のほか、メイキング映像もご覧いただくことができます。

今回、撮影に参加したJAいわき市女性部の方からは「県外の知人に野菜をあげたら「いわきの野菜は怖いから。」と断られたことがあります。このプロジェクトを通して、正しい知識や情報を消費者に提供して欲しいですね。」と期待する声もありました。また、撮影スタッフの方からも「いわきの皆さんの力になれるよう、スタッフ全員が仕事の枠を超えて作成に取り組んでいます。一緒に頑張っていきたいです。」という嬉しい言葉をいただきました。たくさんの方の想いと願いが込められたCMになったようです。

市は、このプロジェクトを通して、いわきの農作物の様々な情報を分かりやすく公明正大に提供しながら、いわき産農作物に対する信頼感を積み重ねて、風評被害を払拭していきます。

「私はいわきの野菜を選びます。」その言葉が、多くの消費者から聞くことができるよう、一丸となって頑張ります。

農業委員会のついでに

● 農業委員会委員一般選挙の延期及び

委員任期延長のお知らせ

平成23年6月6日付農林水産省告示第1107号において、東日本大震災の影響のため選挙を適正に行なうことが困難と認められる市町村にいわき市が指定されたことにより、平成23年7月19日任期満了に伴う農業委員会委員一般選挙は延期となりました。

選挙の期日は、平成24年7月31日までの間で農林水産大臣が指定する日となりますが、現時点では未定であります。

なお、委員の任期は、選挙期日の前日まで延長となりますのでお知らせいたします。

● 農地の利用状況調査にご協力ください

農業委員会では、農地の有効利用を進めるため、遊休農地の実態把握と発生防止・解消及び違反転用防止を目的に、8～12月を農地パトロール強化月間と設定し、農地の利用状況調査に重点的に取り組んでいます。

調査の際、農業委員や事務局職員が農地に立ち入ることもありますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

農業委員(選任委員)が変わりました



吉田 一喜 委員

- 選任委員(新)
- 農政振興部会
- JAいわき中部推薦
- 常磐馬玉町

7月にいわき中部農業協同組合からの推薦を受け、新たに農業委員として選任されました。今後は、農業振興、農地の権利移動の適正化等に全力で取り組んで参ります。よろしくお願いたします。